

# 小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538  
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

## プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー  
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科  
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任  
<現在> 県議会 県土整備常任委員会委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



## マラソン初挑戦 無事完走しました！「ちばアクアラインマラソン 2014」

一昨年に初開催された「ちばアクアラインマラソン」。

世界で唯一、海の上の高速道路を走るマラソンとして注目されました。しかし初回を終えて、高速道路を通行止めにするという関係もあり様々な問題点が出た事もあって連続開催には至りませんでした。

そして多くの開催を望む声が結集し、関係機関との調整を経て 2 年ぶりとなった去る 10 月 19 日(日)、無事に開催され成功裏に大会が終了しました。

今年は新たにハーフも加わり、フル 12,969 人、ハーフ 3,840 人、合計約 17,000 人のランナーが号砲とともに順次スタートし、完走率はフルで 85.3%、ハーフで 91.6%という結果でした。

前回は当日の気温が高く完走率が 73.8%と他の大会に比べてかなり低くなってしまいましたが、今年は大会運営にも様々な工夫がなされ大幅な完走率の向上に繋がったと評価されています。

小池まさあきは、県議会議員として「スポーツの振興と千葉の PR」のため、今回のアクアラインマラソンに出場、初めてフルマラソンを走らせていただき **42.195km を無事に完走**することができました。今後も「動く！常に前へ Moving Forward」、マラソンのように走り続けてまいります。



### 完走率(フルマラソン)

2012(前回)		2014(今回)	増加率
73.8%	→	85.3%	+11.5%

## 成田空港冬ダイヤ 過去最高も国際旅客便は羽田へシフト鮮明

成田国際空港株式会社(NAA)によると、成田国際空港の冬ダイヤ(10月26日～来年3月28日)は、発着回数、就航都市、乗り入れ航空会社ともに過去最高となるとのことです。

しかし、国際線の旅客便では、夏ダイヤに比べて週 18 回減となり、今年 3 月末からの羽田空港の国際線 2 次増枠によっても既に週 16 回減少していましたので決して喜べる状況にはありません。

これまで成田を拠点にしてきた米国航空会社も減便となるなど、東アジアの北米への結節点としての地位低下も懸念されます。

また、今後航空機の性能向上によって、成田を経由しない便が増えることも予想されます。

このような状況の中ですが、成田空港の施設と機能をしっかりと拡充させるとともに、道路と鉄道のアクセス向上が図られるように常に訴えて、成田国際空港の発展に尽力してまいります。

週間総発着回数 4,244 回  
就航都市 118 都市  
乗り入れ航空会社 87 社

## 「がん」の教育リーフレット 成田市内中学校で検証授業

日本人の2人に1人は何らかのがんに罹患すると言われ、日本人の死亡原因は、昭和56年以来「がん」が第1位となっており、最近では1年間に36万人が亡くなっているという現実があります。

国では、平成24年度から5年間を対象とした新たな「がん対策推進基本計画」を閣議決定し、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」を目指しています。

そして、学校においても健康教育が実践され、その中でも「がん」は重要な課題であり、国民の健康に関する基礎的な教養として不可欠であるとの認識です。

県議会においても昨年「千葉県がん対策推進条例」を議員発議で提案して可決し制定されましたが、その中で「がんに関する教育」を明記し、「児童及び生徒ががんに関する理解を深めるための教育が行われるよう必要な施策を講ずる」としました。

そして、現在県の教育委員会では、がん教育の内容や指導方法の検討を行っており「がんの教育リーフレット」を作成するため、県内3校目の小中一貫校として今年3月に誕生した成田市内の下総みどり学園で県内唯一の検証授業を行うこととなりました。

成田市内の学校で検証されたリーフレットが千葉県下全域で利用されることにより、がん教育が効果のあるものとなって欲しいと願っています。

## 「空き家率」過去最高に 平成25年住宅・土地統計調査結果

総務省では、住宅、土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにするため、昭和23年から5年ごとに住宅・土地統計調査を実施しています。

これによると、

- ・総住宅数は**6,063万戸**と、5年前に比べて305万戸(5.3%)増加
- ・空き家数は**820万戸**と、5年前に比べて63万戸(8.3%)増加
- ・空き家率(総住宅数に占める割合)は、**13.5%**と過去最高となりました

### 千葉県のデータ

総住宅数 289.6万戸 6.6%上昇  
空き家率 12.7%

## 初の2,000万超に=65歳以上の高齢世帯

昨年10月1日現在、65歳以上の高齢者がいるのは2,086万世帯で、前回(08年)の調査よりも266万世帯増えて初めて2,000万世帯を超えました。

このうち高齢者の単身世帯は552万世帯で、全体の26.5%を占め過去最高を更新。夫、妻の両方または、いずれか一方が高齢者の夫婦のみで暮らしている584万世帯を合わせると、合計1,136万世帯となり、全体の半数以上となっています。

本格的な少子高齢化、人口減少時代に突入し、住宅政策と都市のあり方について議論する必要性に迫られている事を認識し、「持続可能な都市」を目指すよう政策提言してまいります。

## ごあいさつ

今年が成田市が誕生して60年、節目の年です。今や北総地域の中心的都市に発展した成田市ですが、昭和29年の7ヶ町村合併時の人口は約45,000人、そして空港の建設・開港、平成18年に下総町、大栄町と合併し現在は人口13万人を超えるまでに成長しました。

しかし、本格的な人口減少時代にあって今後は新たな課題も発生してくると予想されます。

そのような認識のもと、引き続き県政の場においてふるさと成田の発展に尽力して参る所存です。